

## 第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

1組 男子20人 女子18人 計38人

指導者 栗國 好美

遠隔交流学習による他者との協働や対話を行う活動は、自分の知識や考えを他者と比較・分類によって情報を精査することで、自らの考えを形成し自己の生き方を考える手立てとして有効であったか。

### 1 単元 「郷土の偉人」

#### 2 目標

大龍小学校と山形県鶴岡市立朝陽第二小学校は、姉妹校盟約を結んで52年目になる。三年毎に児童代表や関係者が相互に学校を訪問し、直接交流を行ってきた。これまでに子どもたちは、第五学年から姉妹校盟約、西郷隆盛、徳の交わりや西郷隆盛の人となりや西郷隆盛の人物像を学習してきた。今年度は朝陽第二小学校が本校に来校する予定だったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため来年度に延期された。

そこで、本単元では、上記のように日常や学校生活に様々な変化がある中で、実社会・実生活の課題（誹謗中傷や差別）に目を向けさせ、郷土の先人である西郷隆盛と菅実秀の生き方・考え方等の情報を集め、整理・分析し、二人の生き方や考え方を参考に二校の共同宣言を創作することを通して、姉妹校としての結びつきを深め、自己の生き方を考えることができるようにする。

#### 3 単元で育成する資質・能力（評価規準）

| 知識及び技能  | 思考力・判断力・表現力等   | 学びに向かう力・人間性等   |
|---|--|--|
| 西郷隆盛、菅実秀の人物像を知るために、必要な情報を収集したり、他者の意見を比較・関連づけたりして協働制作している。 | 今まで調べてきた西郷隆盛や菅実秀の行動や対応、関わった出来事等の調べたことを根拠に人物像を整理・分析するとともに、生き方や考え方等の人物像を考えたり、相互交流しながら共同宣言として表現したりしている。 | 他者と協働的に取り組み、多様な考えから自己の生き方を考え、先人の考え方から実社会や実生活の中で生かせそうな考え方を自ら見い出そうとしている。 |

#### 4 指導計画（全7時間）

| 過程     | 主な学習活動  | 時間 |
|--------|---|----|
| つかむ・見導 | ① 実社会・実生活の課題を基に、二校で「共同宣言を創り、各校のホームページに載せる」ことについて考えを話し合う。<br>○ 現在の状況(コロナ禍)の中で、西郷隆盛、菅実秀だったら何と言うだろうか考える。<br>○ 二校で共同宣言を創るために、西郷隆盛、菅実秀の行動や対応、関わった出来事等を調べる。 | 2  |
| ふかめる   | ② 西郷隆盛、菅実秀の行動や対応、関わった出来事等を根拠に生き方・考え方等の人物像を捉え、これらを踏まえた共同宣言を考える。<br>・ 自己の生き方や実社会・実生活の中で生かせそうな考えをワークシートに記入する。  | 4  |
| 生かす    | ③ 学びを振り返り、自分の考え方の変容や付加したことをまとめる。  | 1  |

#### 5 本時（5／7）

##### (1) 目標

西郷隆盛と菅実秀について調べ、考えてきた提言について他者と比較・検討し、それらを踏まえた共同宣言を創作することを通して、姉妹校としての結びつきを深め、自己の生き方を考える契機とする。

##### (2) 評価基準

- ・ 情報を整理して、自分の考えの根拠とし、共同宣言として表現できる。
- ・ 異なる意見や他者の考えを基に、自分の考えを再構築することができる。

##### (3) 指導に当たって

つかむ過程では、単元の学習計画や個・グループの提言を振り返り、学習問題を明確にもつことができるようにする。調べる・確かめる過程では、行動や対応、出来事等を根拠に意見を交流することで、学び合いを活性化させる。深める・まとめる過程では、本時の学習を振り返り、今後の学習への意欲を高める。

(4) 実際

| 過程      | 主な学習活動   | 時間 | 指導上の留意点と手立て  |
|---------|--|----|--|
| つかむ・見通す | <p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・度量が大きく、思いやりがある。むやみに人を責めない西郷さんに慕った。</li> <li>・士族達が、刀を鎌に替え松ヶ丘開墾を行い、庄内藩の再建をめざした。</li> <li>・菅さんは、銀行も開業しているよ。</li> <li>・西郷さんは、自分がけがをしても、人のために動く人だ。</li> </ul> <p>・庄内の人のために動いた人だ。</p> <p>・人を責めない人。</p> <p>・未来を考えて、動いている人だ。</p> <p>・情に厚い人だ。</p> <p>私たちのグループの提言は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人を責めず、優しくします。</li> <li>・できる事を頑張ります。</li> <li>・みんな仲良く、協力します。</li> <li>・繋がりを大切にします。</li> </ul> <p>2 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>西郷隆盛と菅実秀の生き方、考え方をともに、共同宣言をつくらう。(現代版徳の交わり)</p> | 8  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの学習意欲を高めるために、朝二小との交流がなくなったことや日常生活や社会に目を向けさせ、コロナ禍の日本において、西郷隆盛や菅実秀だったら何と言うのか問う。</li> <li>○ 本時の学習方法の見通しをもたせるために、自分の考え、グループの提言をコラボノートのペン図で振り返らせる。</li> </ul> <p>【評】 友達の発表を興味・関心をもって聞いている。(態度)</p>  |
| 調べる     | <p>3 二校のグループ同士で話し合い、まとめる。</p> <p>【各校の提言→共同宣言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西郷隆盛と菅実秀は、人にとっても優しいことが同じだね。</li> <li>・大龍小には、敬天愛人という言葉があるよ。朝二小学校は、西郷隆盛のことを何て言っているのだろう。</li> <li>・二人とも学校や開拓みたいに未来のことを考えている。</li> <li>・両方のグループから出ている人に優しくしますはどうだろう。</li> </ul>  | 22 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な意見に触れ考える事ができるように、グループ毎に、タブレット端末で意見交換を行わせる</li> <li>○ 各グループ司会者の進行により、話し合いが進められるように手順を示す。</li> <li>○ 情報をもとに、共通した生き方や考え方から人物像を書いたワークシートを用意させ、考えの根拠が明確にできるようにする。</li> </ul> <p>【評】 自分なりの方法で考えを表現し、他者の考えを受けて、自分自身や他者の考えのよさを理解している。(ワークシート・発言)</p> |
| まとめる    | <p>3 各グループの共同宣言を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人に優しくします</li> <li>・礼儀正しくします</li> <li>・人のために動きます</li> <li>・自分に勝ちます</li> </ul>   | 8  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コラボノートの提示機能を使って、複数のグループのノートを並べて提示し、比較しやすくする。</li> </ul> <p>【評】 グループの発表を聞いて多様な考えを知り、その良さに気付き、自分の考えを広げている。(ワークシート・発言)</p>   |
| 振り返る    | <p>4 専門家の話を聞く。</p> <p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習を知る。</p>   | 7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習への満足感・成就感を感じることができるよう、専門家の方から価値付けてもらう。</li> <li>○ 本時の学びのプロセスを振り返り、大切にしたい考え方を振り返る場を設定する。</li> </ul>  |

